



元氣のみなもとをつくってます

大商金山牧場

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2025年2月17日

株式会社大商金山牧場

## 豚糞と食品廃棄物を活用した“循環型バイオガス発電” 食品産業優良企業等表彰で「農林水産大臣賞」を受賞 地域に貢献する安心安全な製品供給体制が評価 3月10日表彰式

総合食肉業の株式会社大商金山牧場(本社:山形県東田川郡庄内町、代表取締役社長:小野木重弥)は、循環型農業・耕畜連携・バイオガス発電事業・一貫生産体制の取り組みが認められ、第46回食品産業優良企業等表彰の食品産業部門にて、「農林水産大臣賞」を受賞しました。

### ■山形県内の民間企業で初の豚糞と食品廃棄物を活用した“循環型バイオガス発電”が評価

一般財団法人食品産業センターと、公益財団法人食品等流通合理化促進機構は、農林水産省の後援のもと、食品製造業及び食品流通業において、顕著な功績をあげた企業、団体、個人及び高度の技術・技能の保持者を広く顕彰しています。

当社は、循環型農業・耕畜連携・バイオガス発電事業・一貫生産体制の取り組みが認められ、食品産業部門・農商工連携タイプ「農林水産大



バイオガス発電施設

臣賞」としてこの度受賞いたしました。山形県内の民間企業では初となる、豚糞と食品廃棄物を活用した“循環型バイオガス発電”事業を開始するとともに、堆肥等を地元農家に還元し、循環型農業に貢献、さらに JGAP と農場 HACCP の認証の取得と、ミートセンターとと畜場を併設し、安心・安全な製品を供給できる体制を構築したとして、その功績が称えられたものです。

今年度は、2025年2月4日(火)に発表され、2025年3月10日(月)に如水会館にて表彰式が行われます。

### ■100%再エネで育てたブランド豚「米の娘ぶた®」

「米の娘ぶた®」を育てている「米の娘ファーム」は、バイオガス発電の他に、社屋に設置した太陽光発電と、本社所在地である庄内町に新設した風力発電を活用して、再生可能エネルギー100%で運用しています。また当社は、畜産業と農業を核とした“循環型農業”の確立を目指しています。そのひとつに、地元金山町の特産物であるニラの中でも“一番刈りニラ”と「米の娘ぶた」を使用した「米の娘餃子」を開発。餃子工場を新設して餃子を製造し、当社の販路を活か



当社が目指す循環型農業のイメージ

して販売することで、地元特産品の消費促進と認知拡大、雇用促進を図り、地元に貢献しています。

2022 年から開始した新たな取り組みとして、イオン東北の店舗などから出たパンくず(食品残さ)を「米の娘ぶた®」の飼料に混ぜて与える、食品ロスの活用も進めています。

### ■最先端の衛生設備で抜群の鮮度を確保

「米の娘ぶた」は、加工にもこだわりがあります。当社加工工場「大商金山牧場ミートセンター」は、公設のと畜場「庄内食肉流通センター」と併設しており、お互いの冷却室がレールで直接つながっています。そのため、と畜から出荷まで、外気に一切触れることがなく、冷凍も不要で、抜群の鮮度を確保したまま自社工場から直送することが可能です。



当社は、食肉の生産から、加工・販売までおこなう山形県 庄内食肉流通センターと併設された当社ミートセンターの総合食肉会社として、これからも真の安全・安心を提供するため「FSSC22000」、「ISO22000」を認証取得したミートセンター、「農場 HACCP 認証」、「JGAP 認証」農場である米の娘ファームを活用し、ブランド豚「米の娘ぶた®」を中心にした“循環型農業”の実現を目指し、東北・山形県から“元氣のみなもと”を発信していきます。

### 【会社概要】

社名：株式会社大商金山牧場(たいしょうかねやまぼくじょう)

代表：代表取締役社長 小野木 重弥

本社所在地：山形県東田川郡庄内町家根合字中荒田 21-2

TEL：0234-43-8629

URL：<https://www.taisho-meat.co.jp/index.html>

設立：1979 年(昭和 54 年)7 月

資本金：10,000 万円

事業内容：豚・生産飼育業務、豚肉脱骨・整形及び部分肉製造業務、業務用食肉アウトパック業務、食肉・加工食品卸売業務、生鮮食品・米穀の販売、食肉加工品製造販売・飲食販売業バイオガス発電事業



本件に関するお問い合わせ先

大商金山牧場 広報担当 佐藤(さとう)

Mobile:080-8439-4255

電話:0234-31-4129

E-mail: taishokouhou@taisho-meat.jp